

おいでよ！うつくみの郷

5月3日(火) ~ 5月5日(木)

IN うつくみの郷

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	選択プログラム	夜の散歩、星空観察
2日目	遠足(綾部ふれあい牧場)	選択プログラム	BBQパーティー、 のびのびタイム
3日目	野外炊飯	施設清掃 四絶出発・解散	

一日目： 久々のGWキャンプ開催となりました！天候も3日間良好で、最高のキャンプになる事間違いなしです。各集合場所から尼崎に全体集合し、綾部に向かおうとしたのですが、GWの洗礼として、大渋滞に巻き込まれました。本来、30分ほどで行ける道のりを1時間30分かけて向かいました。しかし、車内のメンバーは飽きることなく、楽しく過ごされていました。高速に乗ると順調に進み出し、昼には施設に到着する事が出来ました。施設に到着すると、珍しい日本家屋に驚かされている様子でした。昼食を済ませると、午後は選択プログラムという事で、各々やりたい事をしていただきました。周辺散策をされたり、施設探検をされたり、川辺で蟹を見つけたり、畑作業をされたりしました。どれも普段の街中では経験出来ない事なので、大いに楽しまれていました。夕飯作りはお手伝いをしていただける方はしてもらい、入浴を済ませたい方は入ってもらい、上手に交代が進めました。夕食はお好み焼きで、大きめな一枚を焼いたのですが、完食されていました。夜のプログラムは日中とは異なるお散歩です。灯のない田舎道を歩くと少し怖さも感じました。しかし、夜空を見上げると、満天の星空を見る事が出来、感動をもらいました。帰ってくると皆で、就寝準備という事で、布団を敷き、明日に備えて寝ました。明日は遠足です。大いに楽しみましょう！！

二日目： 眩しい日差しが入り込み、それが目覚まし代わりになるような清々しい朝でした。起床後は皆で協力して、布団を片付け、身支度を整え、ラジオ体操で目を覚ました。体操後ちょうど朝食も出来たので、朝からしっかりと食べました。朝食後は“うつくみタイム”として、施設の清掃時間です。施設内の至る所を清掃しました。メンバー一人一人がうつくみの気持ちを持って取り組まれたので、とてもキレイになりました。午前中のプログラムは遠足です。今回は“ふれあい牧場”へ向かいました。天気も良く、施設の屋根や芝生と青空とのコントラストが非常に美しく、その下で楽しんでおられました。ゴールデンウィークという事もあり、いつもよりお客さんが多いため、動物たちもいつも以上に外に出ていました。メンバー達は動物に触ったり、餌をあげたりして、たくさん触れ合っていました。お昼前に新しいメンバーを駅にてお迎えをし、施設に戻り、昼食を済ませました。午後からは選択プログラムとして、農作業、施設整備、設備設営、周辺散歩などを過ごしました。地域の組長さんのご案内で、椎茸狩りに出かけました。原木に自生している椎茸を見るのが初めてのようで、感動をされ、夢中で収穫されていました。収穫した椎茸を袋いっぱい詰めて、大喜びされていました。夕飯は収穫した椎茸を使ってBBQを行いました。お肉や野菜も焼いて、皆で楽しくいただきました。食後は入浴と片付けを交互に行い、夜の時間は、夜の散歩に行かれた方、夜空を楽しまれた方、部屋でのんびりされた方、各々過ごしました。寝る前に皆で映画も観ました。就寝時間になり、寝床に着くと疲れが溜まっていたので、すぐに寝息が聞こえてきました。

三日目： 昨晩は暖かく、とても寝心地が良かったので、起床の合図まで皆熟睡されていました。起床後の動きはよく寝ておられたので、テキパキと俊敏に動かされていました。朝食はキャンプ飯として定番の“パックサンド”です。ただし、今回はいつもの挟む具材に追加して、キムチや納豆も用意しました。果敢にチャレンジされ、「美味しい！」と高評価だった事が意外でした。朝食後のうつくみタイムが終わると、最後のプログラム“カレー作り”を行いました。今回のカレーは【具沢山カレー】を作りました。不慣れな手つきで一息懸



命に包丁を使い、野菜やお肉を切り分けておられました。この日は日中30℃に迫るほどの炎天下にも関わらず、かまどの前でうちわで火を起こされていました。また、野外炊飯の係以外にも施設の蔵の清掃に携わっていただきました。蔵からは農作業道具や工具、これ何？と思えるものまで、様々な物が出てきました。埃をほうきで掃き出し、野外炊事道具などを収納し、整理され、見違えるほどキレイになりました。お昼ちょうどにカレーが完成し、皆でいただきました。お腹も減っておられたのか、これまでで一番沢山食べておられました。食後は野外炊飯の片づけと、最後の清掃“うつぐみタイム極”を行いました。メンバーの心に隅々までキレイにする意識が芽生えており、細かいところにも目を向けて掃除をされていました。施設をピカピカにし、感謝の挨拶を済ませた後、バスは出発しました。帰りの車内は疲れから、DVDが流れている中でも熟睡されていました。



<キャンプ総括>

今回のうつぐみの郷での暮らしにおいて“家族”をテーマに行いました。こちら側から「～しなさい。」という一方的な事は言わず、参加者様ご本人がしたい事を自ら選んでしていただく事に重きを置きました。【したい事をする】事は野外活動の中で同時に危険度が高まります。同じことを皆さんにさせていただくと注視する点は絞られてきますが、各々好きな事をしていただくと、それだけ意識を沢山向けていかなければいけません。だからこそメンバーの人数に比べて、スタッフの人数を多く設置し、安全を確保することに徹底しました。したい事をする、つまり【自由】をメンバーに与えると同時に個々の『責任』も与える事になります。目に見える責任は感じて、取ってもらうよう促していきますが、見えない責任は我々が担わなければいけないと考えております。その責任を取れないのであれば、参加者様に自由を与えるべきではないと思いますし、我々は出来るからこそ、今回皆様に自由を提供し、思い思いの満足のいく活動が出来たのだと実感しています。今回の活動を基準として、これからのうつぐみでの活動を展開して参ります。これからのご参加も何卒よろしくお願い致します。

(竹中 哲郎)